

きらり

市立大町総合病院 広報誌
大町病院

vol.55

2025.3.1

自由に持ちください

特集 臨床研修修了を前に！

◆令和7年度 健康診断のご案内

◆予防接種のお知らせ

(新型コロナ、HPVワクチン、带状疱疹ワクチン)

◆寄り添う医療の緩和ケア

◆脳卒中相談窓口

◆登録医紹介 おひさまクリニック



写真：ワクチン接種の様子（関係記事9ページ）



大町病院ホームページ

初期研修

専門研修

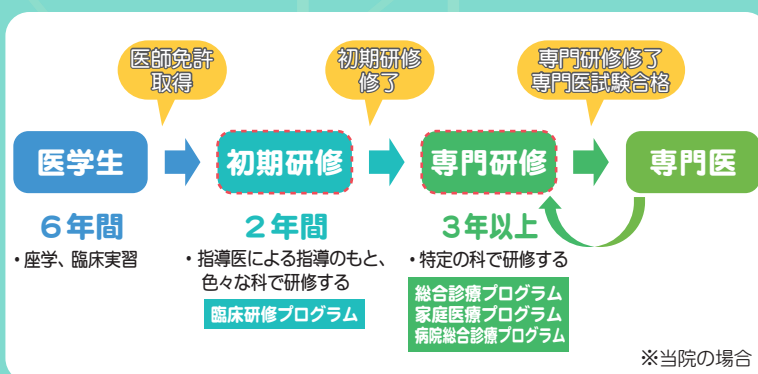
臨床研修修了を前に！

研修を終えた感想と学生たちに向けて

初期研修、専門研修ってなに？

医師は、医師免許取得後すぐに2年間の「初期研修」を行い、基本的な診療スキルや医療現場での実践力を養います。その後、「専門研修」と呼ばれる自ら選んだ専門分野の研修に進み、専門医を目指してさらに高度な技術と知識を習得します。

当院では、臨床研修と専門研修（総合診療・家庭医療・病院総合診療）を実施しており、今年3月末で研修を修了する研修医と専攻医にインタビューを行いました。



修了者へのインタビュー

- 1 研修先として大町病院を選んだ理由
- 2 研修内容・経験したこと学んだこと
- 3 大町病院への想い
- 4 当院を研修先には選ぼうと思っている方へのメッセージ

① 全身とその患者さんの生活背景を含めて診たいと考えた時に、外来、入院、訪問診療まで診られるためです。研修医の期間中から、在宅や緩和ケアを勉強したいことも理由です。

② 様々な科（内科、外科、小児科、整形外科、泌尿器科）の専門領域を経験させてもらいました。初診外来や救急外来、入院では在宅に移行し看取りまでさせていただいた患者さんもいて、患者さんの家族背景や住んでいるところや歴史といった、病気だけでなく全身を診られたことが学びとなりました。

③ 2年間育てていただいたことがすごく大きく、ここでなければ今の自分はなかったのだと思います。疾患の治療を学んだだけでなく、それ以上に医者としてどうやって患者さんと向き合っていくべきか、サポートしていくべきかということを学ばせてもらいました。大町病院だけでなく大北の他の診療所等で研修させてもらった経験から、大北でいつかまた働きたいと思っています。

④ 自分がやりたいことを叶えてきてもらった2年間でした。やりたいことに貪欲に向き合え、目の前の患者さんや病院にとって何ができるかを考えながら、それを叶えさせてもらえる病院だと思います。

疾患を診ることはどの病院でも勉強できますが、全身、家族の背景まで関われる家庭医療ができる研修病院は限られていると思います。



初期研修医
中村 真波



初期研修医
林 雅文

① 実習で訪れた際、総合診療や地域医療に触れ、直感的に「面白そうだな」と感じたことが大きな理由です。また、総合診療・内科の指導医の先生方の優れた指導力にも深く感銘を受けました。これまで大学病院という大規模な医療機関で主に実習を行ってきたからこそ、患者さんを臓器ごとに分けて診ることに、ある種の物足りなさやつまらなさを感じていました。もちろん、そういったアプローチも重要ですが、患者さんの抱える複雑な問題を全体としてまろごと診ることの方が、自分に合っていると感じ、大町病院を選びました。

② 大町病院では、単に知識を得るだけでなく、「どのように知識を得るか」を日々のカンファレンスや先生方の診療を通じて学ぶことができました。さらに、上級医に相談できる環境が整っている上で、ほぼ主治医としての裁量を与えられるため、目の前の患者さんに対してどうすれば最善かを必死に考える機会が多くあり、大きく成長できたと実感しています。

③ 大町病院での研修を通じて、本当に多くのことを学ばせていただきました。初期研修先として大町病院を選んで、心から良かったと感じています。また、病院スタッフの皆さまの温かいサポートのおかげで、伸び伸びと成長することができました。ここで得た経験や学びを、今後も周囲の人々に還元していきたいと思っています。

④ 大町病院は小規模にもかかわらず、毎日朝・昼のカンファレンス（強制参加ではない）など教育リソースが豊富に得られます。そして、小規模ならではの診療科間の垣根の低さ、アットホーム感や色々融通が効くということも大町病院の良さだと思います。

総合診療・家庭医療・地域医療に興味がある方や、高齢者診療を深く学びたい方には、大町病院は非常におすすめです。また、過度にハードな環境は避けたいけれど、それなりに頑張りたい方、内科以外を志しているけれど総合診療や総合内科の知識を身につけたい方、そして、温泉・登山・ウインタースポーツが好きな方にも、おすすめの環境だと思います。

①私はへき地を含めた地域で活躍できる医師になりたいと考えているからです。一般的にへき地では都市部に比較して医療資源が限られており、各科臓器別の専門医も少ない状態です。そのような場所では臓器横断的な知識を持ち、患者さんを全人的に診ることのできる総合診療医が必要と考えます。自分の必要としている知識やスキルを獲得するために大町病院の総合診療プログラムはとても魅力的でした。特徴として、指導医の先生方が熱心に指導してくださり、日々学びながら、大北地域での地域医療を実践することができます。自分が将来になりたい医師像に近づくための研修の場として最適だと考えたため、大町病院を研修先として選ばせていただきました。

②大町病院の総合診療プログラムでは様々なことをバランス良く研修することができます。外来では初診外来、高血圧、糖尿病などの慢性疾患の再診外来や救急外来を偏りなく実践することができます。その他、病棟管理や訪問診療などセッティングを問わず活躍できるようなシームレスな研修をすることができます。また半年間診療所で研修させていただいたことも大変勉強になりました。日々のカンファレンスでは疾患についての医学的な知識をブラッシュアップするだけでなく、患者さんの価値観や家族背景などをふまえた家庭医療のスキルも存分に学ぶことができました。

③大町病院は温かい職員の方が多く、非常に働きやすい職場だと思っています。また総合診療・内科はチーム制が確立しており、ライフワークバランスがとれていて、ありがたいです。個人的には昨年子供が生まれた際に、一ヶ月の育児休暇をいただき、大変感謝しております。

④地域の中核病院であり、大変さもありますが、その分やりがいもあります。指導医の先生方も丁寧に指導してくださり、学ぶことが多いです。ライフワークバランスもよく様々なライフステージの方にお勧めできるかと思います。



専攻医
(総合診療)

鎌倉 健人



専攻医 (家庭医療)

縣 翔子

①家庭医療が学べる病院だから。

②病棟管理、外来診療、訪問診療をシームレスに経験することが出来た。

③将来はこの近辺で働くつもりでいます。大変お世話になりましたし、これからも教えていただくことはとても多いと思います。退職するわけではありませんので、引き続きよろしくお願いします。

④家庭環境に配慮していただき、時短勤務や宿日直等についてもライフスタイルに合った働き方を選択することが出来ました。

①大町病院は、この大北地域で大事な、地域に根差している病院だからです。総合診療という研修を考えた時に「地域を診る」ことが大事だと考えています。都会のように様々な病院に受診するのではなく、困った時に頼ってもらえる病院であり、相談先として選んでもらえる病院であることで、自分の足りないことが知れ、学びに繋がっています。

②大町病院は、外来診療を行い、病棟で入院患者さんを診て、救急対応をし、訪問診療を行い、一貫して患者さんを診ます。例えば、救急車でいらした患者さんが入院し、退院後は外来を受診し、通院が困難になれば訪問診療に切り替えるといったように、患者さんの人生に伴走しているように関わっていると感じます。私が着任1年目に担当した入院患者さんの、在宅でのお看取りに関わらせていただき、患者さんの人生に関わるということ、総合診療医として、主治医として関わるといったことが経験でき、これが一番の学びでした。

③少子高齢社会の中、市立病院であるから出来る地域との関わり方があってと思います。大町病院もその一つの起点やハブとして、病気を診るだけではなく、地域全体での暮らし方に関われることは、市立病院ならではのと考えており、こういった役割も果たしていけるように貢献していきたいと思っています。

④総合診療や家庭医療を目指している方へおすすめしたいこととして、やはり1番は地域に密着しているということ。医師として、患者さんの疾患は当然診ますが、生活全般や地域づくりにも関わりたいという方、課題がある大北地域と一緒に良くしていきたいという方へ、地域や行政の方と関わって学んでいくことができる病院としておすすめしたいです。

病院の方針として、やりたいことをやらせてもらえることに加え、大病院とは違い中小病院ならではの機動力もあります。チームで医療を行っているため、他のスタッフの協力が得られることも強みです。



専攻医
(病院総合診療)

田川 哲也

プログラム責任者からのメッセージ

林先生、中村先生へ



初期研修修了おめでとうございます。

大町での初期研修は、症例数や手技の経験数からしたら、ちょっと物足りなかったり、のんびりふわっとしたところもあっただろうけど、総診の毎日のカンファレンスはかなり濃厚で、とても鍛えられたのではないのでしょうか。

将来何を専門とするにも必要な、基本的な知識、問診や診察の仕方、診断にたどり着くまでの考え方、医師としての姿勢など、しっかり身につけることができたものと確信しています。自信を持って3年目からの専門研修に進んでください。そしてこれからが医師としての本当の仕事です。患者さんの声に真摯に耳を傾け、丁寧な言葉使いで話しかけ、他の様々な職種の方にも敬意を払い、常に謙虚な姿勢で、ジェネシャリストの精神で頑張ってください。そして地域を支えるいいドクターになることを期待しています。

臨床研修プログラム責任者 高木 哲

縣先生、鎌倉先生へ

縣先生は小さなお子さんがいながらよく研修を行いました。地元出身でもありこの1年は地域のためにという意志がとて強くなり、白馬村の医療にも貢献できました。鎌倉先生は自治医科大学出身ということで、長野県全体の医療を良くするという思いがとて強いです。当院での知識を活かして長野県に貢献できる人材になったと感じています。お二人共本当にお疲れさまでした。そしてまた一緒に大北の医療をよくしていきましょう。

家庭医療プログラム・総合診療プログラム責任者 金子 一明



田川先生へ



病院総合診療専門研修プログラムの1年間、お疲れさまでした！

専門研修とはいえ、実際には田川先生には大町病院の教育を引っ張ってもらって、大町病院の教育の幅の広がりを感じた1年間でした。また、全人的な患者さんへの関わり方や、地域全体を診る視点が素晴らしく、病院総合診療医（または病院家庭医）というにふさわしい姿を後進らに見せてくれました。来年度からは指導医として、益々の活躍を期待しています。

病院総合診療プログラム責任者 関口 健二

研修事務担当者からのメッセージ

つい先日まで学生だった研修医が、2年間の研修を終え、独り立ちすると想うと感慨深いものです。専攻医についても今年度は、総合診療・家庭医療・病院総合診療の全てのプログラムから修了者がでる初めての年であり、嬉しい限りです。

教育に関するサポートや研修の進捗確認、プログラムの継続や修了にかかる書類手続き、リクルート、相談役など携わってきましたが、入職時期の4月と修了時期の3月にはとてもやりがいを感じます。

研修を修了した先生方、お疲れさまでした。プログラム修了おめでとうございます！

診療部医療支援室研修担当事務 横澤 孝彰



健診センターからのお知らせ

生活習慣病やがんなどの予防、早期発見のため 年1回の健診受診をおすすめします。

さまざまな病気のリスクが高くなる生活習慣病を予防するため、またがんなどの病気の早期発見、早期治療のためにも、1年に1回定期的に人間ドック（1日ドックなどの健診）を受診しましょう。

また、健診にあわせて疾病リスクに対応した様々なオプション検査やがん検診また脳ドックも受診していただけます。

今回は、令和7年度にお受けいただける健診コースやオプション検査をご案内します。



胸部ヘリカルCT検査（内臓脂肪面積測定付）



胸部をらせん状に撮影できるCTで、胸部レントゲンよりも早期に病変を見つけることができます。あわせておへそ周りも撮影し、動脈硬化の原因となる内臓脂肪や皮下脂肪も計測します。2日ドックはコース内で実施します。



医師をはじめ保健師、看護師、検査技師による診察、問診、保健指導や各種検査を提供しています。

また、健診の予約から結果送付まで事務職員が対応いたします。

当院人間ドックのオススメポイント



安楽な胃カメラ検査

胃カメラ検査の苦痛や不安を軽減するために、当院では注射の麻酔を使用しての検査を実施しています。麻酔を希望される場合は、麻酔の注意事項および副作用についての十分なご理解と同意の上での実施となります。

※ご希望の場合の追加料金は1,650円です。



協会けんぽのお得な差額ドック

全国健康保険協会の被保険者の方は、「生活習慣病予防健診」の補助を利用して、腹部超音波検査や眼底・眼圧検査さらに血液検査項目も追加されたお得な人間ドックコース（差額ドック）が受けられます。今年度の健診をさらに充実させることができ大変おすすめです。

令和7年度 人間ドックコース

検査項目		2日ドック	1日ドック	脳ドック併用	脳ドック単独	簡易脳ドック
身体計測(腹囲含む)		○	○		○	○
視力測定(裸眼・矯正)		○	○			
眼圧測定・眼底撮影		○	○			
聴力検査		○	○			
血圧測定		○	○		○	○
尿検査		○	○		○	
胸部X線検査(2方向)		○	○			
胸部CT検査(内臓脂肪面積測定付)		○				
筋肉量測定		○				
心電図検査		○	○		○	
心不全マーカー(BNP検査)		○				
腹部超音波検査		○	○			
肺機能検査		○	○			
血液検査	一般・生化学	○	○		○	
	血清	○	○			
糖負荷検査(血糖)		○				
胃検査(胃カメラまたは胃バリウム)		○	○			
便検査(2回法)		○	○			
婦人科検診(子宮頸部細胞診)		女性○				
前立腺マーカー(※50歳以上男性)		男性○				
頭部MRI撮影				○	○	○
頭部・頸部MRA撮影				○	○	○
頸動脈超音波検査				○	○	
内科診察		○	○		○	
結果説明・保健指導・情報提供		○	○		○	
料金(税込)		69,410円 ※通院タイプ 58,410円	39,600円	24,750円	35,200円	20,900円

※上記は基本コース料金であり、当院と独自契約している健康保険組合や共済組合の保険証をお使いの方は料金が異なる場合があります。

2日ドック

ゆったりとした日程で受診していただくコースです。より充実した検査項目、状態に応じたより細かな生活指導を行います。

健康状態の把握はもちろん、心と身体もリラックスしていただくため、ご宿泊は当院の契約ホテルにお泊りいただきます。

美味しいお食事と温泉でリフレッシュしながらご受診いただけます。

スケジュール(目安)

- 1日目 8:50 ~ 15:00
ホテルへ移動(送迎あり)
- 2日目 ホテルから病院へ
9:30 ~ 14:00

1日ドック

がん、生活習慣病など、健康状態を総合的にチェックすることができます。検査結果は当日に保健師や看護師が詳しく説明し、医師からの総合的な診断や指導があります。

スケジュール(目安)

8:30 ~ 13:00
昼食を召し上がってお帰りいただけます。

脳ドック

一度発症すると寝たきりや命の危険性がある脳疾患。

不規則な生活、ストレス等脳血管障害のリスクを抱える方、脳卒中の家族歴のある方におすすめです。人間ドック併用コースのほか、単独脳ドック、簡易脳ドックもあります。

認知症チェックに有効なオプション検査もお選びいただけます。



オプション検査

多彩なオプション検査をご用意しています。お申し込みは健診日の1週間前までにお願いします。

検査項目		2日ドック	1日ドック	料金（税込）	備考
生体検査	腹部超音波検査	コース内	コース内	5,830円	
	眼圧・眼底検査	コース内	コース内	2,200円	
	肺機能検査（肺活量）	コース内	コース内	2,090円	
	骨密度検査（腰椎に加え大腿骨も撮影）	●	●	4,950円	
	胸部CT検査	／	●	12,210円	
	胸部CT検査（内臓脂肪面積測定付）	コース内	●	14,300円	
	血圧脈波検査	●	●	1,430円	
	頸動脈超音波検査	●	●	4,950円	
	甲状腺超音波検査	●	●	4,400円	
	大腸CT検査 ※後日実施	●	●	20,460円	
	筋肉量測定	コース内	●	4,400円	
	睡眠時無呼吸症候群スクリーニング検査	●	●	6,160円	
女性限定検査	子宮頸部細胞診	コース内	／		
	子宮頸がん検査 （頸部細胞診＋経膈超音波検査）	一部コース内 ●	●	2,090円（2日ドック） 5,170円（1日ドック）	セット料金
	子宮がん検査 （頸部細胞診＋経膈超音波検査＋内膜細胞診）	一部コース内 ●	●	7,260円（2日ドック） 10,340円（1日ドック）	
	乳房超音波検査	●	●	3,850円	
	マンモグラフィー撮影 1方向	●	●	3,850円	
	マンモグラフィー撮影 2方向	●	●	5,390円	
	レディースドックA （子宮がん検査、マンモグラフィー撮影2方向、乳房超音波検査）	●	●	14,850円（2日ドック） 17,930円（1日ドック）	お得なセット 料金プラン
	レディースドックB （マンモグラフィー撮影2方向、乳房超音波検査）	●	●	8,800円	
血液検査	心不全マーカー	コース内	●	3,080円	
	アレルギー検査	MAST36	●	14,300円	
		ハウスダスト・ダニ系	●	2,530円	
		動物系	●	2,530円	
		花粉系	●	3,740円	
	肝炎ウイルス検査（血液検査）	コース内	コース内	3,850円	
	腫瘍マーカー	膵臓がん検査（CA19-9）	●	3,960円	3項目セット
		大腸がん検査（CEA）			
		肝臓がん（AFP）			
		前立腺がん検査（PSA）	※50歳以上は コース内	2,640円	3項目セット ＋ PSA/CA125 5,720円
		卵巣がん検査（CA125）	●	2,640円	
	甲状腺機能検査	●	●	5,170円	
	骨代謝マーカー	●	●	4,070円	
尿検査	尿沈渣	コース内	コース内	1,100円	
	微量アルブミン尿検査	※糖負荷未実施者 コース内	●	1,210円	
脳	VSRAD検査（早期認知症診断支援システム）	脳ドックオプション		3,080円	
	TIDAS認知症テスト			1,100円	

おすすめの検査

●筋肉量測定

加齢とともに減少する筋肉量を調べる検査です。検査は、放射線で上肢・下肢の筋肉量を測定し、さらに簡単な体力測定を行いその結果で総合的に判定します。2日ドックはコース内で実施します。

●腸内フローラ検査

腸内フローラとは、腸内に生息する腸内細菌の集合体で、腸内には100兆個以上の細菌がすみついています。腸内フローラ検査は、ご自宅で専用キットを使って採便し、検体をポストに投函する方法で腸内環境を詳しく調べることができる検査です。検査結果には、腸内フローラの観点から見た疾病リスクや腸内環境を良くするための生活改善アドバイスなどが記載されています。**下痢や便秘などお腹の症状でお悩みの方、免疫機能を高めたい方、健康増進に取り組みたい方など**に おすすめの検査です。

事業所様へ

- ・協会けんぽ生活習慣病予防健診 一般健診や差額ドック、子宮・乳がん検診など承ります。
- ・定期健康診断 法定健診や特定健診など承ります。



単独検診

人間ドックを受ける時間がないという方へ、気になるところだけ選んで検査できます。

検査項目	料金 (税込)
胃内視鏡検査 (胃カメラ検査)	12,980 円
胸部C T検査	12,210 円
胸部C T検査 (内臓脂肪面積測定付)	15,290 円
大腸C T検査	24,420 円
骨密度検査	4,950 円
筋肉量測定	4,400 円
睡眠時無呼吸症候群スクリーニング検査	8,140 円
アレルギー検査MA S T 36: (血液検査で36種類のアレルギー検査が可能)	16,280 円
マンモグラフィー (2方向)	5,390 円
乳房超音波検査	3,850 円
子宮頸がん検査 (頸部細胞診+経膈超音波検査)	5,170 円
子宮がん検査 (頸部細胞診+経膈超音波検査+内膜細胞診)	10,340 円
腸内フローラ検査	19,800 円

【お申し込みから結果報告までの流れ】 <人間ドック・健康診断>

予 約

完全予約制です。

書類の送付

ご案内、問診票、検体採取容器などを郵送します。

検査前

当日までに問診票の記入をお願いします。

検査当日

当日は受付時間内にお越しください。

結果表の送付

1か月程度で結果表を郵送します。

予約受付 (完全予約制)

電話または窓口にてご予約ください

平日: 11時～16時30分 ※土・日・祝日・祭日は除く

TEL (0261) -85-2234 FAX (0261) -22-3236

予防接種のお知らせ

新型コロナワクチン集団接種の実施について

接種時に満65歳以上の方と、60歳以上65歳未満で心臓・腎臓・呼吸器に重い病気のある方※、ヒト免疫不全ウイルスによる免疫機能障害のある方※は、定期接種（公費補助有の接種）の対象となります。定期接種期間は3月で終了ですので、接種がお済みでない方はご検討ください。

※ 身体障害者手帳1級または1級相当の方

接種日時 3月12日(水) 14:00～15:30予定

予約方法 大町病院ワクチン接種コールセンター(0261-23-5600)へ架電

受付期間 2月18日(火)～3月4日(火) 9:00～17:00 土日祝は除く

接種会場 南棟さくら 講堂

接種料金 1,800円



HPVワクチン無料接種期間の延長について

HPVワクチンの積極的勧奨差し控えにより、ワクチン接種ができなかった方を対象に、令和4年4月～令和7年3月の3年間の予定で、公費での接種機会が設けられておりましたが、今夏以降の大幅な需要増により、接種を希望しても受けられなかった方がいる状況を踏まえ、国の審議会において公費での接種期間の延長が承認されました。

<延長条件>

- ① キャッチアップ接種対象の方(平成9年度生まれ～平成19年度生まれの女性)または 高校1年生相当の方(平成20年度生まれの女性)
- ② 令和4年4月1日～令和7年3月31日までにHPVワクチンを1回以上接種している
上記の両方に当てはまる方は、公費での接種期間が令和8年3月31日まで延長されます。

<予診票の申請、予防接種の予約方法>

① 予診票の申請

- 大町市在住の方: 大町市中央保健センターへ連絡して、ワクチンの予診票を申請してください。
電話 0261-23-4400 (月曜日～金曜日 8:30～17:15)
- 大町市以外に在住の方: 各市町村へお問い合わせください。

② 予防接種の予約

電話 0261-22-0415 予防接種の予約希望とお伝えください。



带状疱疹ワクチンの定期接種について

国の審議会において、带状疱疹が予防接種法のB類疾病に位置付けられ、令和7年4月1日から定期接種化することが承認されました。

<対象者>

- 65歳の方
- 60歳以上、65歳未満で、ヒト免疫不全ウイルスによる免疫機能障害のある方
また、経過措置として以下の方も期限付きで対象となります。
- 70、75、80、85、90、95、100歳の方(経過措置期間;定期接種開始から5年間)
- 101歳以上の方(経過措置期間;定期接種開始初年度のみ)

<自己負担額>

未定ですので、分かり次第、予約方法とあわせてHP等を通じてお知らせします。

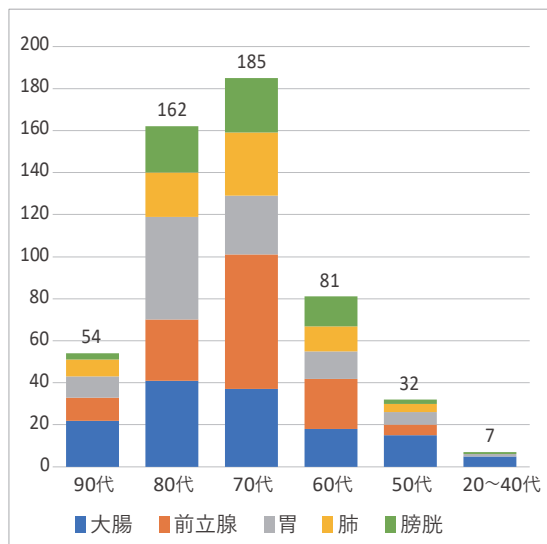


寄り添う医療の緩和ケア

がんと診断された時に寄り添うチーム医療を、続けていきます。

右のグラフは、2019～2021年に大町病院で「悪性腫瘍＝がん」と診断された862名のうち、上位5項目の521件を年代別に集計したものです。日本人が一生のうちにがんと診断される確率は、男女とも2人に1人とされています。国の統計では、1位大腸がん、2位肺がん、3位胃がんです。大町病院の統計では大腸がん、前立腺がん、胃がんが常に上位を占めています。

緩和ケアチームでは、『がんと診断された時から緩和ケア』（厚労省：がん対策推進基本計画）に基づいて、様々な取り組みを行っています。病気に寄り添い、地域で安心して暮らせるように、コラムを通して情報発信していきます。どうぞよろしくお願いいたします。（緩和ケア認定看護師 和田）



脳卒中相談窓口

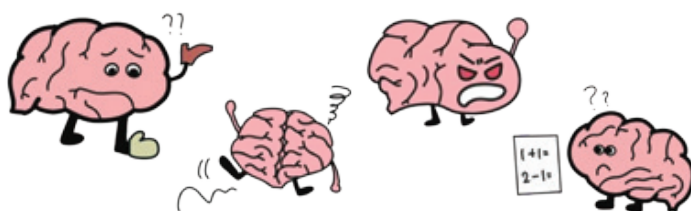
高次機能障害とは？

脳の一部が損傷を受けたことによって、思考、記憶、判断、言語、感情のコントロールなど、日常生活に必要な認知機能に影響が出る状態を指します。

この障害は、脳の外傷、脳卒中、神経疾患、感染症などが原因で発生することがあります。例えば、事故や病気で脳にダメージを受けた人が、集中力の低下や物忘れ、計画的に物事を進める能力が低下することがあります。

高次脳機能障害の症状は個人差が大きく、例えば言葉をうまく使えなくなる「失語症」や、感情のコントロールが難しく怒りっぽくなるなど「感情の変化」、新しいことを覚えるにくくなる「記憶障害」などがあります。これらの症状があると、仕事や家事、人間関係において困難が生じることがあります。

治療にはリハビリテーションが重要で、言語療法や認知訓練、作業療法などが行われます。また、家族や周囲の人の理解と支援が大切です。高次機能障害は目に見える障害ではありませんが、生活の質に大きな影響を与えるため、理解と支援が必要です。



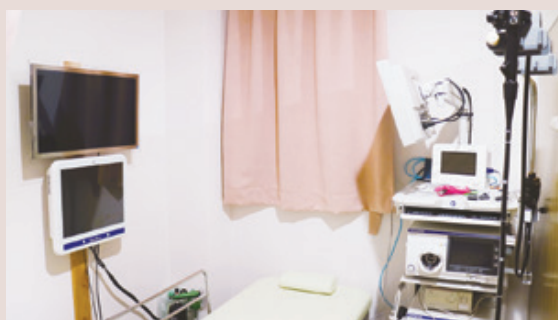
登録医の紹介

登録医とは、患者に対して一貫性のある医療を提供できるように協力体制をとっていただける地域の先生方です。

上條先生には、毎週月曜日に当院の救急外来でご勤務いただいております。

医師を目指した動機は？

I C Uのベッドで奈落の底へ落ちていく私を、医師と看護師が円になって手をつないで助けてくれました。赤信号無視の車に跳ね飛ばされ、あと2時間遅ければ助からなかったと言われた術後、その手の一つになろうかなと情報工学専攻の大学4年生の時に思いました。



4K内視鏡、長野県下で初のAIアシスト大腸内視鏡設備



CT検査設備

医療法人優愛会 おひさまクリニック

所在地／長野県安曇野市穂高5705-1

電話／0263-88-7692

診療科目／内科・外科・小児科・人間ドック

健診・胃大腸カメラ

休診日／日曜、祝日

診療時間／午前 9:00 ~ 12:00

午後 15:00 ~ 18:00 (火、木、土)

15:00 ~ 16:30 (月、水、金)

ホームページURL: <http://ohisama-clinic.info/>



ホームページはこちら

安曇野市 医療法人優愛会 おひさまクリニック



院長 上條 剛志 医師

開業したきっかけは？

子供の一生を手術でいかにより良くできるかが自分の腕次第となる小児外科医としてやりがいがいっぱいでしたが、自分の命を助けてくれた原点の救急医療にも貢献したいと救命救急センターでボロボロになるまで働きました。あとは地域医療と思い開業しました。

地域の皆さんへ一言お願いします。

小児外科医、麻酔医そして救急科専門医として、赤ちゃんからご高齢の皆様まで診療できる経験と技術を積み重ねて参りました。内科・外科・小児科そして朝1時間の人間ドック、胃・大腸内視鏡検査などを中心に地域のみなさまのお役に立てる診療を行って参ります。





2025年3月1日

市立大町総合病院 外来診療表

■受付時間 8:00～11:30 ■休診日 土曜日・日曜日・祝日
 ■診療時間 9:00～17:15 ※診療科によって、受付時間・診療時間及び休診日が異なる場合があります。

診療科		受付・診療時間		月	火	水	木	金
総合診療科(初診外来)		午前	—	担当医師	担当医師	担当医師	担当医師	担当医師
内科	一般外来	午前	【予約制】	中澤 勇一 ☆	笹澤 裕樹 / 関口 健二 ☆	縣 翔子	田川 哲也 / 菊地 一平 / 齋谷 美穂子 ☆	金子 一明
		午後	【予約制】	新井田 侑佳 / 鎌倉 健人		小嶋 啓広 / 縣 翔子	井澤 将太	縣 翔子 / 柿下 悠
	専門外来	午前	【予約制】	金子 一明 (緩和ケア外来)				
		午後	【予約制】		太田 久彦 (禁煙外来)			担当医師 (第1・3週) (ものわずれ外来)
		呼吸器アレルギー内科		午前	【予約制】	藤本 圭作		曾根原 圭 ☆
		午後	【予約制】		駒瀬 裕子		駒瀬 裕子	
感染症内科		午後	【予約制】			笹澤 裕樹 (ワクチン/渡航)		
循環器内科		午前	【予約制】	南澤 匡俊 ☆	大淵 信久	門田 真 ☆	鈴木 翔 ☆	加藤 太門 ☆
腎臓内科		—	【予約制】	新津 義文	新津 義文	新津 義文		
血液内科		—	【予約制】	新津 義文	新津 義文	新津 義文		
糖尿病・内分泌内科		—	【予約制】		森 淳一郎 ☆ (第1・3・5週)		関戸 貴志 ☆	
漢方・リウマチ科		—	【予約制】		北原 英幸	北原 英幸		北原 英幸 (第2・4週)
神経内科		—	【予約制】	飯島 昭二 ☆				森泉 輝哉 ☆
小児科	一般外来	午前	—	松崎 聡	森谷 勇介	松崎 聡	信大医師 ☆	森谷 勇介
	予防接種外来	午後	【予約制】	森谷 勇介	松崎 聡			
	乳児健診外来	午後	【予約制】					松崎 聡 (第2週) 森谷 勇介 (第4週)
	発達外来 慢性疾患外来	午前	【予約制】				平林 伸一 (第2・4週)	
		午後	【予約制】	森谷 勇介	松崎 聡	森谷 勇介	小田切 祐一 (第1・3週) 平林 伸一 (第2・4週) 森谷 勇介 (第2・4・5週)	松崎 聡
外科	初診外来	午前	—	平賀 理佐子 (受付10:00まで)	高木 哲	平賀 理佐子	平賀 理佐子	平賀 理佐子 (受付10:00まで)
	一般外来	午前	【予約制】	高木 哲	高木 哲 / 平賀 理佐子	高木 哲 / 平賀 理佐子	高木 哲 / 平賀 理佐子	高木 哲
		午後	【予約制】		担当医師	担当医師		
	心臓血管外来	午後	【予約制】					信大医師 ☆
	呼吸器外科外来	午前	【予約制】		信大医師 ☆			
整形外科		午前	(受付10:30まで)	鎌倉 貞夫 / 金子 稔	伊藤 仁	鎌倉 貞夫 / 金子 稔	伊藤 仁	信大医師 ☆ / 金子 稔 (受付10:00まで)
脳神経外科	一般外来	午前	—	青木 俊樹	宮武 正樹	青木 俊樹	信大医師 ☆	青木 俊樹 (受付10:30まで)
		午後	【予約制】	青木 俊樹		青木 俊樹		
	専門外来	午後	【予約制】				青木 俊樹 (頭痛外来)	青木 俊樹 (めまい外来)
皮膚科 (17日～31日まで27日を除き休診)		午前	(受付10:30まで)	翠川 央高	翠川 央高	翠川 央高	信大医師 ☆	翠川 央高
泌尿器科		午前	—	永井 崇 / 野口 渉	永井 崇 (受付10:30まで)	野口 渉 (受付10:30まで)	永井 崇	野口 渉
		午後	【予約制】		井上 善博 (第2・4週)			
産婦人科		午前	—	森 篤	深松 義人 (婦人科のみ)	日比 絵里菜	信大医師 ☆	日比 絵里菜 (助産師外来)
		午後	【予約制】	森 篤	深松 義人 (婦人科のみ)	日比 絵里菜	森 篤	日比 絵里菜 (助産師外来)
眼科		午前	【予約制】	平野 隆雄 ☆		知久 喜明 ☆		高橋 良彰 ☆
耳鼻咽喉科		午後	(診療14:00から)	信大医師 ☆ (受付15:30まで)		信大医師 ☆ (受付15:30まで) (補聴器外来あり)		
形成外科		午前	(診療09:30から)			信大医師 ☆ (受付10:30まで)		
特殊歯科・口腔外科		—	【予約制】	相澤 仁志	相澤 仁志	相澤 仁志	相澤 仁志	相澤 仁志

- 医師名に記されている☆印は、派遣医師となります。 ■受付時間外は、あらかじめ電話にてお問い合わせください。
 ■予約の変更等は、15時から17時に各外来へお問い合わせください。 ※産婦人科のみ13時から15時となります。
 ■診察券は、全科共通です。再発行(紛失等)は、有料となります。
 ■再来受付機は、保険証を3か月以上ご提示されていない場合はご利用できません。受付の際は、「③外来受付」にお越しください。

理 念

私たちは、地域に密着した温かく誠実な患者に寄り添う医療を実践します

基 本 方 針

- 市民の健康増進、疾病予防に努めます
- 地域包括ケアシステムの中心を担う病院として、医療・介護・福祉の円滑な連携を推進します。
- 市民の皆さんが安心して暮らしていける医療機能の整備・連携を図ります。
- 公共性を確保し、合理的で健全な病院経営を行います。



市立大町総合病院
OMACHI MUNICIPAL GENERAL HOSPITAL

広報誌 きらり大町病院

■発行 市立大町総合病院 ■編集 市立大町総合病院 広報委員会

〒398-0002 長野県大町市大町 3130 番地

TEL 0261-22-0415 (代)

URL <https://www.omachi-hospital.jp/>

e-mail hospital@hsp.city.omachi.nagano.jp



Instagram



Facebook



X